

# 早川よしゆき 市政報告

## 第 51 号

### 7期目の当選を 果たすことができました 誠に有難うございました

コロナ感染が拡大する中、前回より投票率が6・3ポイント下回り38・34%、戦後最低の投票率となり、現役当選者26人のうち21名が大幅に得票数を減らす厳しい選挙でありましたが、皆様のおかげで上位当選することができました。改めて感謝申し上げます。

また前期、後半の2年間、第48代議長の大役を無事任期まで務めさせていただきました。重ねてお礼申し上げます。こうした経験を活かして、今後とも福山市の発展、地域の振興のため、粉骨砕身努力してまいります。

今後共、変わらぬご指導を賜りますよう、よろしく申し上げます。



### 新型コロナウイルス感染症対策の「新しい生活様式」「新しい働き方」とは？

「新しい生活様式」とは、市民一人ひとりが「人と人との距離の確保」「マスクの着用」「丁寧な手洗いの励行」「密閉」「密集」「密接」の「三つの密」を徹底的に避ける「新しい生活様式」を日常に定着させること。

「新しい働き方」とは、事業所においてはテレワークなど「新しい働き方」を定着させ、市民、企業、医療機関、行政が一体となり取り組むこと。

### 6月議会

#### 新型コロナウイルス ウィルス対策

6月定例会本会議は、6月8日から一般質問が始まりました。

5月25日、緊急事態宣言の全面解除がされましたが、市民生活や経済活動に大きな悪化が現れ始め、企業倒産や失業者が



**質問** 第2波に備え、コロナ感染の終息に向けて全国に先駆けて行動指針（ガイドライン）の策定をする、その素案とは。

**答弁** 感染症ガイドラインとして「職場編」「家庭編」を策定します。特に「職場編」では職員の日頃からの健康状態を把握する。発生時は接触者の特定迅速なPCR検査、患者発生時の情報公開のあり方等、保健所と連携をとる。

終息に向けてはガイドラインに沿った対応がしっかりと出来ている事業所を「認証」して、風評被害の防止にもつなげていく。

**質問** コロナ感染に伴い、臨時休業中の学力補充は。

**答弁** 各学校は、自担当からのメール、電話連絡、家庭訪問などにより学習の進み具合、生活の仕方、不安等を把握し指導・支援をしてきた。登校を呼びかけ、個人面接や保護者面談をし、休業中の児童生徒の状況把

握に努めた。

コロナ危機による社会の変化と共に学校の姿も大きく変わっていくものと考えている。デバイス（一人一台端末）を文房具のように使い、学ぶ場所、方法等自分で選び決めながら「自ら考え学ぶ力」を身に付けさせ未来を切り拓いていけるよう「子ども主体の学び」を追求していきます。

早川佳行の  
主な役職  
67才

福山市議会議員  
七期目  
民生福祉委員会委員  
地方創生調査特別委員会委員  
他

発行者  
福山市議会 水曜会  
市議会議員 早川 佳行  
住所 福山市加茂町下加茂 1901  
電話 972-3195  
事務所 福山市加茂町上加茂 265  
電話 972-8999  
FAX 972-2093

# 水曜会

第51号

令和2(2020)年7月発行

発行者 福山市議会 水曜会  
住所 〒720-8501  
福山市東桜町3番5号  
電話 084-928-1123  
FAX 084-920-1104



## 水曜会の 新メンバー決定

福山市議選は、四月投票が行われ、38人の新しい議員が決まりました。水曜会は、勇退をした2人を除く11人が挑戦し、全員当選を果たしました。当選後、3人の新人議員が入会、14人の最大党派となり、引き続き議会をリードする立場となりました。初心を忘れず、市民の方々の声を市政に反映すべくしっかりと取り組みます。左記は水曜会のメンバーです。



14人の水曜会のメンバー

後列左から：喜田紘平、榊原則男、早川佳行、連石武則、大田祐介、石口智志  
前列左から：小林茂裕、小川真和、石田実、木村素子、羽田俊介、今岡芳徳、熊谷寿人、五阿彌寛之



羽田俊介



木村素子



石田実

新たに加入した3人の新人議員です

水曜会の新役員は以下の通りです  
会長 今岡芳徳  
副会長 榊原則男  
幹事長 連石武則  
副幹事長 石口智志  
会計 喜田紘平

## 六月定例市議会

本会議は六月一日開会。一般会計補正予算案など、23議案を賛成多数で可決しました。五月臨時会では、新型コロナウイルスの感染拡大による経済対策に充てるため、市長・市議と副市長ら特別職6人と市立大学長の期末手当を減額する条例改正案を、全会一致で可決しました。

新型コロナウイルス対策  
本市の独自事業に  
総額約12億円

議長に小川真和議員、  
副議長に大田祐介議員を選出



大田祐介副議長



小川真和議長

福山市議会は5月11日、改選後初の臨時議会を開き、議長に水曜会の小川真和議員、副議長に大田祐介議員を選出しました。

選出後の所信表明で小川真和議長は「議会報告会の新たな取り組みや、議会の要望意見が新年度予算編成に十分反映されるよう、政策形成サイクルの確立を目指す」「新型コロナウイルス対策を巡る課題解決に向けて引き続き、市と連携の強化を図る」事を表明しました。

また、この日は議会選出の市監査委員に、水曜会の榊原則男議員と市民連合の法木昭一議員を充てる選任同意案も可決しました。

3弾も予定されており、水曜会は市民要望に的確に答えるよう求めていきます。

市長と市議38人などの期末手当を減額する条例案を可決

新型コロナウイルスの感染拡大による経済対策に充てる為、市長と市議の六月期末手当を20%、副市長・特別職6人と市立大学長の六月期末手当を15%減額する条例改正案を全会一致で可決しました。

特別職及び市議会議員の六月期末手当の減額総額は、1248万3909円です。

一般質問に水曜会は  
6人が登壇  
枝廣市長を質す

六月議会の一般質問者は、新人全員を含め6人が登壇。質問者は左記の通りです。

- 連石武則
  - 石口智志
  - 喜田紘平
  - 石田実
  - 木村素子
  - 羽田俊介
- 質問内容の詳細は、八月一日の「福山市議会だより」に掲載されます。